

2016年3月11日

山本

3.8-9 中央行動で 最賃 1500 円要請行動

生協労連 2016年3・8-9 中央行動では全国から 300 名を超える仲間が参加し、2 日間にわたって要請行動や宣伝行動が行われました。生協労組おかやまからは役員を中心に 12 名が参加しました。

1 日目 (8 日)

省庁・業界・政党要請行動にそれぞれが参加しました。パートは主に厚生労働省に提出した「パート法」の運用に関する質問事項 4 項目への回答を受け取り、質疑応答をする団体交渉をおこないました。

その後コープ共済プラザに移動し(代々木)「2016 春闘決起集会」をおこないました。生協労連柳副委員長による「最低賃金学習」の後、最低賃金 1500 円を訴えて運動を展開しているエキタスの方から連帯挨拶がありました。



エキタスの仲間は「なぜ僕たちは 1500 円を求めているのか。それは若者には既に正規の仕事がなく、非正規の仕事しかない。抜本的な賃上げが必要で暮らしていきける賃金を求めている。時給 1000 円ではちゃんとした暮しができない。フルタイムで働いて普通に暮らせない社会はなんだ!？」と訴えました。

そして「若者にとって労働組合は遠い存在で希望が

見いだせない。労働組合が 1500 円を掲げてくれることは本当に嬉しい。若い人にとって労働組合との距離感が縮まり、味方だと思うだろう。」と生協労連が 1500 円を求めて運動を展開していることを歓迎しました。

生協関連・一般労組から参加した流通で働く戸田将隆さんが組織拡大の報告をしました。戸田さんは「最初は働くなってこんなもんだと思っていた。でも労働組合のことを知り、労働組合をつくりたかったことで、残業代の未払い分や賃上げをかちとり、有休もとれるようになった。しかし労組活動に参加できる人はまだ少数だ。職場の仲間が仲間を誘って欲しい」と呼びかけました。



2日目 (9日)

朝から曇り空の中、8時半からの新橋駅頭署名宣伝行動から始まり、議員要請行動、日比谷野音での「3.9労働者総決起集会」「パートなめんな！最低賃金 1500 円@銀座パレード」と旺盛に行動した1日でした。議員要請行動後から降り始めた雨は止むことなく、銀座パレードは雨、風、低温という3重苦の中で行われました。スタート地点で弁護士の宇都宮健児さんと作家の雨宮処凛さんが、激励のスピーチをしてくださいました。

今回の銀座デモは①暮していける賃金の1500円を求める。②沿道の人飛び入り参加も促したいとの2点の思いからエキタス風のデモに取り組みました。サウンドカーを先頭に、音楽に合わせて短めのコールを行い、第2梯団では鼓笛隊がコールに合わせてという今までにない生協労連としては斬新な取り組みでした。

天気には嫌われましたが、飛び入りを含め400名のデモ隊となりました。参加者はずぶ濡れになりながら、「パートなめんな！」「だれでもどこでも1500円！」とコールをしたり、鼓笛隊をしたりとやった感のあるデモとなりました。

